

ふるさと創生

大滝温泉蘇生事業本格始動

ふるさと創生大滝温泉蘇生事業の基本計画が完成し、今年市が建設する「ふるさと広場」と「温水プール」のうち、ふるさと広場については既に四月に着工しています。温泉保養地としてのイメージアップ、魅力あふれる温泉街の形成と環境づくりを目指す蘇生事業、いよいよ本格的なスタートとなりました。

これまでの経緯

米代川のほとりに発展した温泉郷、大滝温泉。湯瀬、大湯と並ぶ県内三大温泉街の一つで、秋田藩主佐竹侯の御湯治定泊地であったという由緒があります。

県内屈指の宿泊収容能力を持ち、十和田、八幡平、男鹿半島など観光地を結ぶルート上に位置していますが、交通事情の変遷等の影響もあって、現在は往時の活況が影を潜めてしまっているような状況です。



「ふるさと広場」建設地

平成元年七月、市では国のふるさと創生交付金一億円を、皆さんから寄せられたご意見・アイデアを基に、この大滝温泉の活性化と永続的な市経済全般への波及効果をねらいとして使うことに決定。「大滝温泉蘇生事業」を始動させるための基本計画が、今年三月完成しました。

基本計画は大滝温泉区域をミニリゾート化するといふもので、総概算事業費は約五十七億円、対象面積は約二十五万平方メートルを見込んでいます。現在、事業の第一弾としてJR花輪線・大滝温泉駅前の道路と国道103号線に囲まれた区域の東端に、ふるさと広場の建設を進めています。

今後さらに

検討・調整

基本計画では、全体構想を三つのゾーンに分けて整備を進めることにしています。

Aゾーン・温泉街整備計画。温泉と歴史の街——SPA大滝エリア

Bゾーン・駅前、旧バイパス整備計画。人が集う——コミュニティパークエリア
Cゾーン・川岸整備計画。人が躍る——アミューズメントパークエリア

現在着手しているのはBゾーンで、市が進めているふるさと



「ふるさと広場」起工式

広場、温水プール建設のほか、ゲートボールコート、テニスコート、人工池、ミニゴルフ場などが計画されています。Aゾーンは街路、街並み整備を核に、Cゾーンは曲田橋と大滝橋のイルミネーション化やマリナー建設、桜並木の配置など米代川堤防沿いを活用して整備する計画です。

事業費、面積ともに大規模な計画で、事業主体や年次計画、財源など、計画具体化には今後更に検討、調整が必要ですが、市では二十一世紀へ向けた環境づくりのため、皆さんと共通の未来展望を持ちながら計画推進を図ることになっています。よろしくご理解ご協力をお願いします。

